



ヨコハマまちかど政治 かねら版

発行 自民党かながわ1区支部
編集長 平木 茂
平成22年4月1日号

2010年
4月号
No.87

自民党

中区・磯子区・金沢区

神奈川1区
支部長

松本純



松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

国外? 県外? やっぱり沖縄県内?

いつまで迷走するの? 普天間飛行場 移設のゆくえ



沖縄の普天間飛行場を移設する目的は何だったのでしょうか。

普天間飛行場は、横浜ベイスターズのキャンプ地でもある宜野湾市の中心部にあることから、一刻も早く危険性を除去しなければならないというのが移設の目的でした。6年前には隣接する大学の敷地内にヘリコプターが墜落しています。自民党政権では、「負担の軽減と抑止力の維持」をキーワードに、名護市の沿岸部に移設することでアメリカ政府、地元自治体と合意していました。

民主党は、「最低でも沖縄県外への移設」と主張しました。

その結果、名護市長選挙で移設反対の市長が選ばれ、自民党政権が、「地元の頭越しには進めない」という姿勢で10年以上にわたって検討してきた名護市への移設計画は極めて難しい状況になっています。

さらに民主党は、「自民党政権では10年以上たっても移設が実現しなかった」と言いますが、米軍基地の移設にはそれだけの時間が必要なのです。沖縄の人たちの思いは、必ずしも県内移設ではないのでしょうか。その一方で、日本の平和と安定を守る抑止力を維持しなければなりません。自民党政権は地元と何度となく協議を重ねてきました。環境や騒音の問題に最大限考慮した県内移設はやむを得ないという民意が、3度の沖縄県知事選挙と名護市長選挙で示されてきたのです。

鳩山首相は普天間飛行場を県外に移設できるという県民の期待を高めました。ところが鳩山政権は、国外・県外ではなく沖縄県内の新たな移設先を模索しているようです。沖縄では今月25日に県内移設に反対する県民大会が開かれます。鳩山首相が県民の期待を高めた結果、自民党政権が10年以上かけて積み上げてきた移設作業は振り出しに戻る恐れがあります。それは、危険な普天間飛行場が市街地の中心部にあり続けることを意味するのです。

日米安保改定50年の節目の年に、日米同盟に大きな影響を与えることになります。2014年までに沖縄の海兵隊員8000人をグアムに移すことや、厚木基地の空母艦載機部隊を移設する計画も暗礁に乗り上げることになります。日米同盟の揺らぎは、安全保障だけでなく経済にも波及していくのです。先日のトヨタの問題もまったく影響がなかったとは言えないのではないでしょうか。

国を守れない政党に政権を任せられません。普天間飛行場が市街地にあり続ける責任、万が一、事故が起きたときの責任は誰がとるのでしょうか? 自民党は、日米両政府が合意した普天間飛行場の移設を着実に実施して、沖縄の負担の軽減と日本を守る抑止力の維持をはかることを強く求めています。

いま地域で
(人・まち・出来事)

桜が私たちを見守っています

●並木（金沢区）桜の見張人 高橋廣光さん

桜の開花で春が告げられます。金沢区在住で「日本さくらの会」会員の高橋廣光さんに、横浜の桜の魅力についてお聞きしました。

「中・磯子・金沢…、三区の共通項の一つとして『海と桜』があります。潮風に強いオオシマザクラが海岸段丘や丘陵部に見られるほか、随所に名所・名木・名花があります。『各区の桜10選』を出しあって見たいものです。

私の住まう金沢・並木地区も新しい街ですが、歴史の桜・新しい桜、自然の桜・人の手になる桜がほどよく混在しています。桜の一年は花で終わります。生きた証としての花、たった5日間の花の見時のために360日があるとも言えます。葉桜の夏・紅葉の秋、そして幹肌・枝ぶりを隠さず見せる冬…、四季を通じて桜木を眺めやると一層「花、がいとおしくなります。私達の生活のすぐ近くに、素晴らしい桜があります。桜が私達を見守っています。」



松本議員の活動記録

2010年3月

《2月》

- 22日 ● 金沢土建組合総会懇親会
● 神奈川県薬剤師会創立120周年記念式典
- 28日 ● 第17回岡村梅林「梅まつり」

《3月》

- 4日 ● 米国国務省日本語研修センター国会見学
● 米国在住日系人一行との懇談会
- 7日 ● 中区ミニバスケットボール卒業生大会開会式
- 10日 ● 横浜港議員連盟初会合

- 11日 ● 障害者特別委員会、障害者自立支援等に関する小委員会合同会議
- 15日 ● 自民党神奈川1区支部大会・松本純後援会総会
- 17日 ● 厚生労働委員会
- 19日 ● 消費者問題に関する特別委員会・理事会
● 黒川澄夫氏の叙勲受章を祝う会
- 24日 ● かながわ自民党学生部大学de国会に行こう！閉会式



2/27 洋光台梅の里まつりで。今年「洋光台」が誕生して40周年。記念植樹など、未来への夢を語り合いました。



2/27 村上健司県会議員の後援会「さくら会」の新年会で。皆様の数々のご意見、激励に「元気」をいただきました！



3/4 中区にある米国国務省日本語研修センターの皆さんが国会見学に。活発な意見交換など有意義な交流ができました。



3/7 金澤八幡神社神輿保存会寺前睦の創立40周年記念パーティーが開かれ、皆さんの祭りへの熱き想いに感謝！

みんなの声

●同じマンションに住む4人の子育て中の母親。昨年は子ども手当がもらえると喜んでいましたが、先日、「国の借金が増え、将来の子ども負担になると知り、やっぱり反対」と話しに来ました。将来に不安を残す政策ではなく、保育園の待機児童の解消などの子育て支援策の方がが必要です。(磯子区女性)

●自民党に「子ども手当の問題を知らせる運動」をお願いします。お金につられて民主党に投票した人が、もらえるお金を受け取らないはずはありませんから、目先の損得ではない子ども手当の危険性、問題点をもっと分かりやすい言葉で伝えてください。(西区女性)

永田町日記

「Twitter(ツイッター)」始めました

「140字のつぶやき」の発信として、政治の世界でも話題になっている「ツイッター(Twitter)」ですが、私も3月から始めました。インターネット上に「私の今」を発信することで、多くの方々からの反響があります。携帯電話で「ツイート(つぶやき)」を投稿すると、ライブ感覚で大勢の人がこの情報を共有できる仕組みです。私は毎日、持ち歩いているカメラで撮った写真をホームページにアップして活動報告をし、情報通信を使って議員と有権者の距離をなくす努力をしています。これに加え、ツイッターはこれから、使い方次第で市民の政治参加をさらに進めるための有効な道具として生かせると確信しています。

まずは、<http://twitter.com/junmatsumoto411> をご覧ください。(純)